

### 休止方針転換

# 「赤レンガ建築賞」継続

## 2日から 作品募集 道、関係団体と共催

道は十月二日から、本年度の「赤レンガ建築賞」の候補作品を募集する。道は財政難から昨年度限りで休止する考えだったが、建築士らの要望を受け、方針を転換。関係団体との共催の形で継続することになった。

同賞は、美しい景観形 建造物を表彰し、北海道 とうと一九八八年度に創成や地域振興につながる の建築文化を向上させよ 設。道内の完成から三年

程度までの建造物が対象で、毎年一点を選び、知事が建築主と設計者、施工者を表彰してきた。年間の経費は、審査時の旅費など約百万円で、

昨年度までは道が全額負担していた。

しかし、財政難による事業見直しの一環として、道は本年度予算に経費分を盛り込まず、休止を決めた。

これに対し、昨年度の審査員を務めた建築士や大学教員を中心に継続を求める声が強まり、道建築設計事務所協会(札幌)など関係団体が七月、道府原知事が表彰する建

結果、同協会など三団体との共催で実施することになった。

経費は、同協会などが集める協賛金と、候補作品からの五千円の参加費でまかなう。道は引き続き事務局となるが、経費は負担しない。

自身も受賞歴があり、昨年度から審査員を務めた同協会の吉田宏会長は「都府原知事が表彰する建

築賞は全国でも珍しく、受賞は励みになり、人材育成の面でも意義は大きい。今後も継続できるよう、われわれも努力したい」と話している。

候補作品の募集は十月三十一日まで。表彰は来年一月の予定。

問い合わせは道建築指導課 ☎011・231・4111(内線29・470)へ。